

放送大学徳島学習センター出張講義一覧

平成30年度版

1. 人文科学：題目「板東俘虜収容所とベートーヴェンの『第九』」

講義内容	第一次世界大戦中、中国・青島（チンタオ）の日独戦争で降伏したドイツ俘虜たちのために現在の鳴門市大麻町板東の地に俘虜収容所が建設されてから、今年でちょうど百年、そして来年はその収容所でベートーヴェンの『第九』が演奏されてからちょうど百年になります。その『第九』が日本初演ということで、日独間の国際交流は現在も続いています。当時のドイツ俘虜たちにとってベートーヴェンの『第九』とは、一体、何だったのでしょうか。そのあたりに焦点をあててお話しします。
対象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏名	石川 榮作（放送大学徳島学習センター所長・徳島大学名誉教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

2. 人文科学：題目「ポルトガルの文人モラエスと徳島」

講義内容	ポルトガルの首都リスボンで生まれたモラエス(1854-1929)は、神戸大阪ポルトガル領事の職を辞して、1913(大正2)年7月に徳島へ移住してきて、そこで『徳島の盆踊り』『おヨネとコハル』『日本精神』などの執筆をしながら、晩年を徳島で過ごします。一体、モラエスにとって徳島とは何だったのでしょうか。なぜモラエスは終(つい)の住処(すみか)に徳島を選んだのでしょうか。そのあたりに焦点をあててお話しします。
対象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏名	石川 榮作（放送大学徳島学習センター所長・徳島大学名誉教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

3. 看護学：題目「がん医療の発展とがん看護のプロフェッショナル」

講義内容	がん医療は飛躍的に進歩し、がんにかかっても長く生きられる時代になり治療を受けながら社会生活を送ることも可能になっています。一方、治療が長期に続くことによる身体的、心理的、社会的な新たな問題も発生しており、専門性の高い看護が求められています。この講義では、高度化するがん医療において期待されるがん看護のプロフェッショナルについて一緒に考えます。
対象	生徒、保護者、教職員
氏名	雄西 智恵美（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

4. 心理学：題目「人生における心の変化とその対応」

講義内容	人間は生まれてから死に至るまでの人生において、さまざまな課題に直面し、それらの課題を乗り越えて、良い方向を目指して生きていくことを求められます。それぞれの年代（発達期）の特徴と課題について時代背景、その人が持っている素質などから検討し、どのような対応や支援が求められるかを皆さんと一緒に考えたいと思います。
対象	一般社会人、保護者、保育士、教職員、幼児・児童・生徒
氏名	山本 真由美（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター、スクリーン

5. 工学：題目「地震に強い家づくり～木造建築物の耐震化～」

講義内容	平成28年熊本地震では、震度7の揺れを2度観測した益城町などの地域で、多くの木造住宅の被害が報告されました。しかし、そのような地域でも、2000年以降に建築された現行の建築基準法・木造耐震基準を満たす住宅では、倒壊などの大きな被害を受けた住宅が少なかったことが報告されています。 本講義では、過去の地震被害、木造建築物の耐震基準や耐震技術、既存建築物の耐震診断・耐震改修など、これまでに蓄積された様々な地震に対する知見を学ぶことで、地震に強い家づくりについて考えます。
対象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏名	小川 宏樹（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター，スクリーン

6. 工学：題目「空き家リノベーションによるまちづくり」

講義内容	最新の住宅・土地統計調査では、全国の空き家率は13.5%にも達し、各地で空き家問題が深刻化しています。使われなくなった建築物が空き家化することで、個人の経済的な負担だけでなく、地域の防災や防犯、環境、景観などの様々な問題が発生します。 本講義では、空き家問題の解決に向け、空き家や空き店舗のリノベーションによる利活用と、リノベーションを展開することで地域の価値を高めるまちづくりについて学びます。
対象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏名	小川 宏樹（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター，スクリーン

7. 日本考古学：題目「有史以前の徳島」

講義内容	近年各地で考古学上の発見が相次いでいる。あまり知られてはいないが、徳島でも着実にその成果は蓄積されている。この講義では、徳島の先史時代はどのようなものだったのか、最新の研究成果をもとに、先史時代（縄文時代から古代ごろまで）の徳島について紹介していきます。 徳島の先史時代は、教科書などの概説書とは異なる面も多く見られます。そういった点を取りあげ、地域社会の原点を再発見していきたいと思えます。
対象	生徒、保護者、一般社会人
氏名	中村 豊（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター，スクリーン

8. 日本考古学：題目「徳島の考古学-農業の展開と青石の利用史から考える-」

講義内容	「弥生時代に稲作がはじまって、その後の日本文化の原点になった」このような考え方が普及しています。ところが、最近の研究では、縄文時代から農業が始まっていることが明らかとなり、弥生時代以後もアワやキビなどの畑作物がさかんに栽培されていたことが明らかになってきています。とくに畑作が盛んであった、徳島の古代農業について考えます。 徳島にありふれた「青石」ですが、古代から貴重な資源として石器や古墳築造の材料として周辺地域から招来されてきました。青石の利用から地域の新しい歴史像を再発見していきます。
対象	生徒、保護者、一般社会人
氏名	中村 豊（放送大学徳島学習センター客員教授・徳島大学大学院教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備考	必要備品 液晶プロジェクター，スクリーン

9. 英語学：題目「プーさんが黄色な訳：ことばと世界の相互的關係」

講内 義容	プーさんは熊のぬいぐるみですが何故黄色なのでしょう。ティガーは虎のぬいぐるみですが何故オレンジ色なのでしょう。本講義では、まず英語における色彩語彙と実際の色の関係について、日本語と比較しながら紹介します。そして次に、「ことば」と「私たち人間が捉える世界」との相互的な関係についてお話しします。
対 象	一般社会人、生徒・保護者・教職員
氏 名	山田 仁子（放送大学徳島学習センター客員准教授・徳島大学准教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備 考	必要備品 液晶プロジェクター，スクリーン

10. 心理学：題目「遊ぶことと心の健康」

講内 義容	「遊ぶこと」は子どもにとって、身体を丈夫にしたり，自然や社会，人間関係を学んだりするために重要であると考えられてきました。しかし「遊ぶこと」の意味はそれだけにとどまりません。「遊ぶこと」は，子どもの心身の健やかな成長はもちろんのこと，心の癒しや内的課題の解決とも深く関わっています。また「遊ぶこと」は子どもだけでなく，おとなにとっても大切で必要なものです。この講義では，そのような「遊ぶこと」と「心の健康」の関わりについて臨床心理学的視点から考えてみたいと思います。
対 象	教職員，保護者，一般社会人
氏 名	久米 禎子（放送大学徳島学習センター客員准教授・鳴門教育大学准教授）
連絡先	放送大学徳島学習センター（TEL088-602-0151）
備 考	必要備品 液晶プロジェクター，スクリーン